

## 奈良女子大生による「奈良」に関わる研究発表会

日時：2007年3月22日（木） 13：30～16：30

主催：生活環境学部現代GP・文学部なら学プロジェクト

場所：元興寺禅室

### ○開催の概要

奈良女子大学では「奈良」に関する研究に多くの学生が取り組んでいるため、これらの成果を、調査等でお世話になったみなさまや地域にも還元し、より広く知っていただきたいと思っています。

そこで昨年度に引き続き、生活環境学部現代GPと文学部なら学プロジェクトが共同で研究発表会を開催しました。今年度は、世界遺産・国宝の元興寺のご協力により、禅室を会場としてお借りし10題の発表、2題の報告、5作品の展示が行われました。

当日は学内外からのべ約80名の方に来ていただき、13時半～16時半の3時間、充実した研究発表会となりました。



研究発表会のチラシ

### ○プログラム

時間	内容
13：30～13：40	はじめに 生活環境学部長・現代GP代表 上野邦一
13：40～14：50	発表【生活環境学部・大学院人間文化研究科人間環境学専攻】
14：50～15：05	休憩
15：05～15：50	発表【文学部・大学院人間文化研究科国際社会文化学専攻】
15：50～16：20	発表【生活環境学部現代GPの取組 ・文学部なら学プロジェクトの取組】
16：20～16：30	おわりに 文学部教授・なら学プロジェクト 出田和久

### ○参加者アンケートの抜粋

- ・奈良には昔から興味があり、色々な祭りや行事を見に来ています。このように奈良には研究、分析されるだけの魅力があるのだと思います。学生の皆さんは、労力と時間をかけて、興味深い研究をされていました。（一般）
- ・レベルの高い研究が多数見られ、大変感心しました。会場が元興寺であることも大変良かったです。（他大学教員）
- ・分野の違う研究が聞けて大変良かったです。対象が奈良であり、身近な話題に興味を持ってました。（本学教員）
- ・奈良はたくさんの資源を有する地なので、今後も世界遺産や文化財などを会場に行われたら良いと思います。（学生）

## ○成果

昨年度開催の反省をふまえ、発表題数を減らし、各学科・専攻から1、2題ずつ発表することで、多様な分野からの調査・研究の発表を行うことができました。そして、本研究発表会を開催することで、地域の方に大学での調査・研究内容について報告し、知っていただくだけではなく、学内関係者でも、他学部・他専攻の取り組みについて知る機会となり、今後の調査・研究の参考となりました。

学生にとっても、学内や学会等での発表機会とは異なり、一般の方にも分かりやすい内容、表現で発表することで、より広く調査・研究内容を知ってもらうための訓練の場ともなったようです。

また、会場をフィールドであるならまちの世界遺産・国宝 元興寺をお借りしたことは、参加者、発表者ともに好評で、メディアにも取り上げていただき、本学の取り組みについて広く情報発信をすることができました。

## ○今後の事業への反映

参加者からは、発表時間についてもう少し長くしてはどうか、という意見もあがっていましたので、次年度のプログラムの参考にしたいと考えています。また、現代GPの取り組みも含め、大学での調査・研究、取り組みについては、地元の方への情報発信が十分ではない点もあるため、今後も学外での研究・成果発表の機会を積極的に設けていきたいと考えています。



元興寺禅室



発表の様子



展示の様子



会場の様子